

心豊かな世代が育つ

童話の里づくり

445

ーシリーズー あなたの人権・わたしの人権

『自分のいいところ』

古後小学校 6年

新城 由緒

五年生の時、「自分のいいところ」を見つけてカードに書いていく活動を一年間続けました。

最初は、自分のいいところや好きなところをほとんど見つけることができませんでした。

自分では、見つけられなかったけれど、お母さんに言われたことを思い出して書きました。

それは、

「家のそうじをよくしてくれるね。」ということでした。お母さんにほめてもらえてよかったと思いました。

その一枚は、書くことができたが、他のことは全く考えつきませんでした。

担任の先生にたずねたら、

「全校集会の『ほめられ名人』で言われたことや、先生たちからほめられたことを書けばいいよ。」

と、アドバイスしてくれました。

それから、思い出したことを数枚のカードに書くことができました。

集会をするごとに、自分の「いいところ」が増えていくことがうれしくてたまりませんでした。

二期期になって、人権ファミリーコンサートが学校でありました。

その時、シンガーソングライターのMONさんが来てくれて、親子で一緒に聞きました。

MONさんは、「生まれてきてくれてありがとう」というテーマで、話をしたり、歌を歌ってくれたりしました。

MONさんのコンサートの中で、心に残ったことは、「命を大切にし

てほしい」ということでした。

「命を大切にする」ということについて自分なりに考えてみました。

それは、きつと「自分のことや周りの人を大切にすること」なんだと思います。

人権コンサートが終わって、お母さんとおばあさんからメッセージカードをもらいました。

そのカードには、「がまん強いこと」「明るいこと」「手伝いを進んですること」など、私のいいところがたくさん書かれていました。

自分には、こんないいところがあるんだと、新しい発見をしたし、うれしい気持ちになったりしました。

六年生になって、私はたった一人の最高学年になりました。

児童代表のあいさつや全校の前での発表など、みんなのお手本になれるようにがんばっています。

行事や委員会があるときは、下級生が私にいろいろと聞きに來ます。

「私はみんなに頼りにされているなあ」と感じました。

下級生の間にも、一人ひとりがよくがんばってうれしいです。これまで、いろいろな人に私のいい

ところをほめられて、とてもうれしかったし、なんだか自分に自信がついてきました。

今度は、私が周りの人のいいところを見つけて、伝えていける人になりたいと思います。



この人権作文について、意見や感想、激励など、お寄せください。また、みなさんの投稿もお待ちしております。

わたしたちをとりまく様々な不合理や差別性について気づいたことや感じたことを、二〇〇字程度にまとめて、住所、氏名、連絡先電話番号を記入して(匿名可)、玖珠町教育委員会社会教育課「あなたの人権・わたしの人権」までお届ください。

